



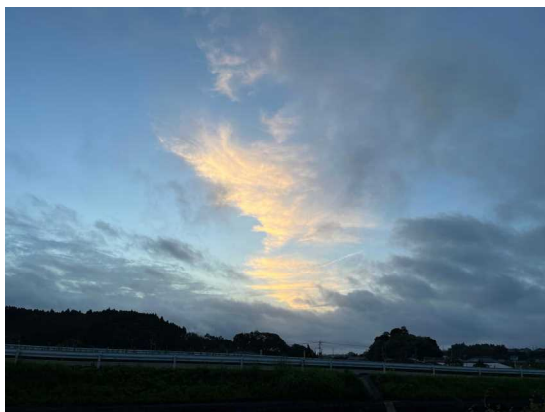
「空のご機嫌」

見上げてごらん夜の星を
小さな星の 小さな光が…

(作詞 永六輔さん)

有名な歌のフレーズ。星を見上げることは、なかなかできないでいる私。

でも、朝方や夕方など、日中には良く眺めるようになった。空を眺めると、なんだか楽しい気持ち、うれしい気持ちになるからだ。



(日の出 宮崎西 IC 近く 2023.8.7 5:31am)

朝方は、なんといっても、夜明け前や夜明けがとても神秘的で、毎日それを眺められることに、思わず手を合わせている自分がいる。

地球からすれば、当たり前のことであろうが、小さな人間にとっては、それが本当にありがたくて、感動して見入ってしまうものなのだから。勝手に、何かしら神秘的な気持ちになるのも、自分の都合かも！



(朝の雲 宮崎市跡江 2023.8.13 8:50am)

夜明け前の空の様子を見るようになったのは、墓参りをするようになったからである。自宅から、片道約500歩で到着できる位置にある。しかし、忙しさにかまけて、あんまりお花替えもせず、ご先祖様に失礼な態度だったように思う。

でも、たまたま見かけた夜明けの風景に心が癒され、朝起きると、どんな景色がみられるのかな、と期待を膨らませるようになった。



(夜明け 宮崎西 IC 近く 2023.8.27 5:39am)

ヒトとというものは、ほんとうに気分屋である。この前まで、気にもかけず、何ら反応しなかったのに、ちょっと眺めただけで反応が変わってしまった。

その景色を見ることで、勝手な解釈をして、その景色がほんとうに稀なものだと判断し、自分だけ盛り上がっている。今日も私は、空のご機嫌をうかがっている。



(神々しい 自宅付近 2023.9.16 4:49pm)